

THE WEEKLY NEWS OF FUTTSU-CHUO

ロータリーの未来はあなたの手の中に
The Future of Rotary Is in Your Hands
国際ロータリー会長 John Kenny



世界にも目を向けよう
Reaching Out to the World
富津中央RC会長 志波 克

2009～2010

国際ロータリー 第 2790 地区 富津中央ロータリークラブ 創立:1966/10/13 加盟承認:1966/12/12
RI D2790 FUTTSU-CHUO ROTARY CLUB Organized : Oct./13/1966 Chartered : Dec./12/1966

No.2145 第29回例会 2010. 2. 4 晴

点 鐘：志波 克 会長
進 行：大網庄一郎 副 SAA
ソング：君が代、奉仕の理想

会長挨拶

会長 志波 克



旅行で二週連続欠席したせいかな正月気分の抜けないうちに、昨日は節分、今日は立春と、あっと言う間に2月になってしまいました。

立春は“春の気が立つ”と言う事ようですが、実際には2月が“着ている上に更に着る”ことから、“きさらぎ”と言われる様に、この日あたりが一年で一番寒い時節なので、どうぞお体にはお気を付け下さい。蛇足ですが、立春は冬至と春分の中間の日で、88夜や210日はこの日から数えます。

今月は「世界理解月間」です。ジョン・ケニーRI

会長は二月のメッセージの中で「ポール・ハリスの、“人の心は繊細で影響を受けやすいので、相互理解と好意が簡単に恐怖や憎悪になってしまう”、という言葉を中心に置き、親睦、理解、平和という大きな目標に向かって奉仕活動を進めなくてはならない。」と意味深い事を述べています。

普天間問題や、トヨタの問題が感情論に発展しないよう願うばかりです。感情論と言えば二三日前の新聞の片隅に、高速増殖炉のプラント確認試験が無事終了したと載っていました。ウラン燃料を効率的に利用できるこの原子炉が安全な発電炉として実働する日の早からん事を祈ります。

私たちロータリアンは、国の内外を問わず、物事の本質をわきまえ、真摯に思いやりと尊敬の心をもって奉仕に努めていく事が大切だと思います。

現実問題に戻りますが、世界理解プログラムとして活動計画書に載っている嘉義南区扶輪社訪問と国際大会参加の計画について具体的な検討を始めたいと思いますので、各委員の方々には宜しくお願い致します。

会長報告

例会終了後、定例理事会を開催しますので理事の方はお残り下さい。

〒293-0042 富津市小久保2868
さざ波館 Sazanami-kan
2868 Kokubo Futtsu-shi Chiba-ken,
Zip code 293-0042
Tel.0439-65-3373 Fax 0439-65-3304
URL <http://www.7b.biglobe.ne.jp/~fcrcl>



幹事報告

幹事 榎本守男



今日は、ウキウキ気分です。妻が、やっと歩き始めた孫の顔を見に名古屋に行きました。今夜から5日間独身です。羊飼いのいない羊でむしろ何をしたいのか迷ってます。今夜、放埒の人は集まって、ロータリー談議でもしませんか。放埒とは馬が柵である埒(らち)からはなれ出る意味です。

先週から、五木寛之のベストセラー「親鸞」を読み始めました。面白くて一気に読破したい衝動を抑えてじっくり読んでいます。部屋の照明は消してベットの中で横になってスタンドの明りだけの読書、目に悪いと思いながらも、そのほうが小説の中に入り込んでいけるのです。私の好みの態勢です。30ページ位読むとすぐ眠くなります。少し我慢をして本を置き、睡眠に入ります。すると読んだ小説の中に私はいるのです。この1週間、私は親鸞になって末法の世界でひたすら修行に励んでいます。悟りが啓けたら卓話をするつもりです。よろしくお願ひします。次週の例会2月11日は休会です。

報告事項

1. 君津地方教育書道研究会より書き初め展助成のお礼
2. 2月5日IMの送迎
3. 塩山クラブへの訪問について(鶴田幹事より問い合わせがありました)
4. 富津市少年野球連盟よりロータリークラブ旗争奪少年野球大会のお知らせと協賛金依頼 2月14日 2月21日
予備日2月28日 ふれあい球技場
5. ゆめ半島 千葉大会(第10回障害者ス

ポーツ大会) ボランティアの協力要請

6. モントリオール国際大会参加依頼と日本人親善朝食会の案内

お祝い

誕生



三井進会員(S26. 1. 10)

コメント:1月10日が誕生日となりますので、年頭の所感と合わせお話しさせていただきます。

今年59歳となりました。来年還暦、60代を迎えるかと思うと感慨深いものがあり、緊張している感じがあります。諸先輩が通り過ぎた道であり、「60になっても何も変わらないよ」とおっしゃるかと思いますが、50代最後の年として充実した1年を送ろうと思ひます。今年1年よろしくお付き合ひお願ひします。

石渡 鋼会員(S19.2.10)

原田雅式会員(S22.2.15)

この2名の方は2月18日の会員卓話の中で

結婚

永島強・てる子夫妻(S47.2.19)

コメント:結婚して37年。よく続いたと思ひます。年頭所感で話したように、万事自然体でいきたいと思ひます。

平川恵敏・裕子夫妻(S50.2.23)

コメント:今年は妻と結婚祝いをしようかと思ひています。近頃寝つきが悪く、また夜中に目がさめることが時々あります。そんな時ラジオがあれば思ひたのですが、受信状況の悪い我が家には、高感度の

ラジオがなかったので息子に電話しました。

今まで電話なんかしたことがなかったので息子が心配して、おじは様子がおかしい、ボケたか、それとも夫婦喧嘩でもしたかと、妻のところへ電話があったそうです。

子どもに心配されるようでは、もうそろそろ世代交代かなと思いました。



伊藤一夫・くに夫妻 (S31.2.2)

お祝いは後日に

委員会報告

ロ財団・米山記念奨学会委員会

委員長 高島治雄



今月も先月同様、米山奨学会強調月間として当ロータリークラブは設定してあります。まだの会員方は、是非お一人 1 万円のご協力をお願いします。尚、ついでにポリオプラスお一人3,000円もお忘れの方はご協力下さい。

観光俳句について

会員 千葉一利

次の方が投句してくれました。順不同です。お忙しい中ありがとうございました。

三枝一雄・富美代夫妻、
石渡 鋼、永島 強、榎本守男
高島治雄、高橋裕之、各会員
なお、千葉も出しました。

会員卓話

「蘭学事始」

会員 三井 進

今日は私の趣味であるランの話をさせていただこうと思います。

タイトルを蘭学事始としました。

蘭学事始は確か緒方洪庵か・念のためウィキペディアで確認してみると間違っていました。書いたのは、解体新書を記した杉田玄白で、晩年に蘭学草創期を回想して書いた本である、とのことでした。ちなみに、福沢諭吉が、明治になってこの本を読み、大いに感動し、新たに解体新書を発行したとのことでした。

話は脇道にそれますが、ウィキペディアというのはどういう意味なのか、前から気になっていましたので、今回確認してみました。

まず、この百科事典を運営しているのが、ウィキメディア財団ということだそうです。そのウィキと、百科事典の英語 encyclopedia のペディアを合わせた合成語だそうです。

では、ウィキって何なんだ。この百科事典の運営ソフトの名前なのですが、ウィキという言葉は英語でなさそうだ、これはハワイ語で、一速い速いという意味だそうです。ホノルル空港内を走る WikiWiki シャトルバスというのもあるようです。すなわちウィキペディアは、速い速い百科事典ということです。

ランに話を戻すと、現在ランの鉢を 30 持っています。練馬の自宅からこちらに持ち込み、家内はホツとしているようです。種類は一般的なファレノプシス 胡蝶蘭、シンビジューム、カトレア、デンドロビューム、オンシジューム、パフィオペディラムが中心となります。

不定期に咲くものもありますが、ほとんどのランは、春から夏に咲くものが多いので、多くは、今、花芽の状態です。咲いているのは、シンビジウムとパフィオの一部です。

暮れから新年にかけて、胡蝶蘭、シンビジウムが出回りますが、営業用の温室栽培で、日本の自然環境に置けば、春以降が花期のようです。

ランを始めたきっかけは、確か、胡蝶蘭をいただいて、花が終わった後、何とはなしに管理していたら、次の年にも咲いたのがきっかけだったと思います。

胡蝶蘭を育てるのは難しい、との話だったので、それが意外と簡単に咲いた感動だったと思います。それから、デパートで開催されるラン展に行くようになり、東京ドームで開催される世界らん展に毎年欠かさず行くようになりました。展示会には海外からも店を出すところが多く、今では作品よりも、ショップで珍しいランを探すのが大きな楽しみになっています。



ランとは何かをウィキペディアで見て見ると、ランというのはラン科植物の総称としています。英語ではオーキッド、ギリシア語の「睾丸」が語源になっています。たしかに、パフィオの袋はそのようですし、カトレアとかファレノのリップは女性を連想させるようです。

グロテスクな感じを与える花で、若い時はあまり好きな花ではなかったのですが、今は原始的なその風貌、生命力の強さを感じ楽しんでます。

他にも語源を探ると、ファレノプシスは胡蝶蘭の名前の通り、ギリシア語で蝶の舞、英語では moth orchid 蛾のラン、デンドロビウムはやはりギリシ

ア語でデンドロは木、ビュームは生ずるという意味になります。

ランを分類学で言うとうどうなるのか・植物界・被子植物門・単子葉植物綱・ラン目・ラン科 となる。ラン科には7百数十種の属があり、2万から2万5千種類のランがあります。属にはお馴染みの シンビジウム属、カトレア属、デンドロビウム属等があるわけです。びっくりする程の種類があります。

ランを分類すると、今言った種で分けるのが一番わかりやすいわけですが、生態で分けると、着生ランと地生ラン。土に根を張るのが地生ラン、木の幹・岩に根を張るのが着生ランであり、着生ランが主流のようです。

また、地域で分けると洋ランと東洋ランという分け方もあります。中国・韓国・日本のランが東洋ラン、それ以外が洋ランになります。

歴史的に、東洋ランは江戸時代から愛好されていたものでシンビジウム系、洋ランは明治になってから入ってきたランということになります。

らんは自生地はどのあたりにあるのか、日本のような温帯の気候にもありますが、圧倒的に熱帯、亜熱帯に多いようです。インド・ヒマラヤ・タイ・ベトナム・中国・日本・ミクロネシア・メキシコ・コロンビア・東アフリカ・オーストラリア、ぐるっと地球を取り巻いています。

それも平地から 4000Mの高地に広く分布しており、昼は温度が高く、夜涼しい、霧がかかる様なところを好むようです。日本の栽培業者でも、夏の間は山に持っていくという話を聞きます。

ランを育てるのは難しいといいますが、それは昔の話で、現在のマンションは気密性が高く、温室の様なものですから、私のようにほとんど手をかけなくても、それなりに楽しめます。昔、大航海時代に主に東南アジアからヨーロッパに持ち込まれた時は、温室がないと育てられない植物であり、まさに貴族の楽しみであったわけですが、今は誰もが楽しめる園芸となりました。

2月13日から21日まで、東京ドームで世界らん展が開催されます。一度行かれてみてはとお勧めします。

「和歌に親しむ」(13)

“文ちゃんの百人一首”より

会員 千葉一利

以前に五節会について書きましたが、今回はもう少し詳しく書きます。

白馬～正月の七日、天皇が紫宸殿で21頭の白馬を見る、その後宴会。

踏歌～正月14日(男)正月16日(女)足を踏みならし祝歌を歌う。持統朝から天皇が踏歌を見てから、五位以上の者を招いて宴を開く。

豊の明かり～11月23日、新嘗祭の翌日、天皇が新穀を食した後、群臣に膳をもてなす宴。奈良時代以降。

なお、あとの2つ、元旦は1月1日、端午5月5日はご存知の通りで省略します。

二十一首目 ^{すせい}素生法師

^{いま}今こむと ^{ながつき}いひしばかりに 長月の

^{ありあけ}有明の月を ^{つき}待ち出でつるかな

映像化：これから行くよと、言ってよこしたので「今来るか、今来るか」と、ずっと待っていました。それなのにととうとう来てくれませんでしたね。朝方になって、ふと気づくと有明の月がきれいに見えました。まるで、有明の月の出を待っていたかのようにでした。

豆知識：男の作者が、女の立場に立って「待ちこがれていたよ」と、詠題に答えて詠んだ一首。「待った」のが、一晩待ったのか、・・・から待ったのかの、2説がある。いずれにせよ「一日千秋」を歌にしたもの。古今集

二十二首目 ^{ぶんやのやすひで}文屋康秀

^ふ吹くからに ^{あき}秋の草木の ^{くさき}しをるれば

^{やまかせ}むべ 山風を ^{あらし}嵐といふらむ

映像化：夕べは激しい台風でした。朝起きると道端の草も垣根の草もみんな倒されてしぼんでいます。よく見ると草の根本は山のほうへ葉先は川のほうへ向いて倒れています。山おろしの強い雨風のせいでしょう。それで山から吹き下ろす荒々しい雨風を「嵐」というのですね。

豆知識：康秀が是貞の家の歌合せに詠んだ一首。頓知に富んだ言葉使いで、「山と風で嵐」と決め付け、なぜか人気のある歌。六歌仙の一人。古今集



ニコニコBOX

親睦担当部長 山田昌男



松本先生より寄付

山田昌雄

原田雅式

長らく休みました

誕生祝いをいただいて

三井 進 誕生祝いをいただいて
 石渡 鋼 //
 永島 強 結婚祝いをいただいて
 平川恵敏 //
 千葉一利 俳句ありがとうございました
 孫が東京の体操大会でマット3
 位になりました

合計 13,400円

第3候補 3月18日(木)

以上の候補日で塩山 RC と調整後決定する。

3. 嘉義南区扶輪社姉妹契約更改

先方の都合を問い合わせの後、行動決定。

4. 国際大会参加

大会参加とナイヤガラ瀑布、ニューヨーク観光
 で日程と費用を試算後、参加者募集。

大会登録費はクラブ負担とする。

(志波)

出席報告

出席担当部長 高橋裕之

区分	会員数	出席	欠席	MakeUp	出席率
今回	21	20	1	0	95, 24%
前回	21	21	0	0	100%



(例会が終わって理事会)

理事会報告



出席者：志波、原田、榎本、平川、高島、
 須藤、千葉、石渡

1. 二月例会プログラム

2/11 休会

2/18 会員卓話 石渡、原田

2/25 山田ガバナー補佐 講話
 卓話 インド旅行 須藤

3/04 卓話 インド旅行 志波

2. 塩山 RC 姉妹契約更改訪問

訪問日：第1候補 3月14日(日)

第2候補 3月11日(木)

編集後記

以前、半藤一利氏の明治から平成までを分析した四十年史観について話をした。40年ごとに興亡を繰り返しているという話である。

1990年ごろソ連が崩壊し、バブルがはじけ経済がおかしくなり、1992年とうとう亡の時代に入った。はじめは景気が良さそうに見えたが、実は静かに不景気とデフレが進んでいて現在の状況に至った。

円高ドル安で貿易が停滞し、給料は上がらず購買力は落ち、失業者も5%を越えた。世の中は混乱している。1992年から40年は、私がちょうど100歳になる2032年だが、そこまで亡の時代が続いたらたまらない。

私はこの説をくつがえしてもらいたいのである。もう18年過ぎた。政治でもどんな社会を目指し、具体的にどうするのか、さっぱり見えてこない。この世界的不況を打開してくれる策はないのだろうか。

ロータリーには政治色はタブーだろう。でも、たまには時事問題について話し合いをしてみたらどうだろう。

(千葉)